

# カーボンニュートラルなまち うつのみや 脱炭素

宇都宮市は、2050年までにCO2排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言しています！

将来世代に残すことができる持続可能なまちをつくるため、「かえる」、「つくる」、「育てる」の3つのアクションを実行し、カーボンニュートラルなまち「うつのみや」を市民・事業者・行政が丸くなって実現していきます。

「脱炭素先行地域」の取組が進行中！「ライトライン沿線」において、再生可能エネルギーを最大限導入するとともに、ライトラインや電気バス等を中心とした公共交通の脱炭素化を図る「ゼロカーボンムーブ」の構築を目指し、市域全体の脱炭素化を牽引します。

## ①「ゆいの杜小」における「ゼロカーボンスクール」の実現

民間事業者が設備の設置と電力の供給を行う「PPA方式」を市有施設で初めて採用するほか、市民の皆様が太陽光発電で生み出したCO2削減量の活用により、「CO2排出実質ゼロ」に取り組みます。今後、脱炭素先行地域の市有施設において、順次実施していきます。

## ②ライトラインの「ゼロカーボントランスポート」の実現

地域由来の再生エネ100%で！

再生可能エネルギーの地産地消を推進する。官民共同出資による地域新電力会社

ライトラインの運行に伴う再生可能エネルギーの活用と、自動車からの乗り換えで一般家庭で約1,600世帯分、年間で最大約9,000tのCO2を削減！！

宇都宮市は、令和元年7月に内閣府より、SDG6未来都市に選定されています。

# 農業王国うつのみや 経済

うつのみやの農産物  
宇都宮では、平坦で肥沃な農地、豊富な水資源、長い日照時間など、農業に恵まれた環境のもと、お米を中心にトマトや梨、いちごなど、様々な農産物が生産されています。

- 米** 出荷量 20,420 t 生産額 2,957百万円 ※1  
市内耕地面積のうち約8割が水田で、コシヒカリを中心に盛んに生産されており、宇都宮大学が育成した「ゆうだい21」など、特徴あるお米も生産されています。お米の消費拡大や食育のため、1歳6か月検診時や小中学校入学時に宇都宮産米を配付する独自事業を実施しています。
- トマト** 出荷量 3,605 t 生産額 1,017百万円 ※2  
宇都宮のトマトは甘さと酸味のバランスが良いのが特徴です。県内作付面積は1位(※7)で、ビニールハウスを活用して1年を通して栽培されています。
- 梨** 出荷量 3,218 t 生産額 1,107百万円 ※3  
県内作付面積1位(※7)を誇り、生産、販売とともに全国トップクラスを誇ります。宇都宮では、幸水、豊水、にっこりなど様々な品種が栽培されており、7月～11月にかけて出荷されます。
- いちご** 出荷量 3,254 t 生産額 4,112百万円 ※4  
「とちおとめ」や「とちあいか」を主力に生産が行われ、大粒の「スカイベリー」、夏から秋に採れる「なつおとめ」が生産されています。また、「大谷石」の採石場跡地に貯溜している地下水を利用して生産された夏秋いちご「なつおとめ」を「大谷夏いちご」として販売しています。
- 宇都宮牛** 出荷頭数 119頭 生産額 157百万円 ※5  
JAうつのみや管内で肥育された黒毛和種で、日本食肉格付協会の格付で肉質等級3・4・5等級のもの。どの部位も非常に良質で、脂に上品な甘みがあるのが特徴です。
- ユリ** 取扱本数 1,806千本 ※6  
宇都宮は全国でも数少ない1年を通して出荷できるユリの産地です。オリエンタルユリを中心にテッポウユリ、スカシユリなど約70を超える品種が栽培されています。

※1～5 JAうつのみやの1年間の集計ですが、農産物により集計期間が異なります。  
※6 JAうつのみや及びエフ・エフ・ヒライアのR3.1月～R3.12月の合計。  
※7 2020年農林業センサス

# 楽しい！おいしい！うつのみや 経済

食べて・飲んで・聴いて うつのみやの3自慢！！

「餃子のまち」  
宇都宮市には、餃子を提供しているお店が300店舗以上あり、そのうち約90店舗が協同組合宇都宮餃子会に加盟しています。宮っごは「週に数回餃子を食べる」のがスタンダードで、総務省の家計調査でも、1世帯当たりの年間購入額が2010年まで15年連続、2013年、2017年、2019年にも日本一になるなど、今も昔も、宇都宮市民から愛されています。店主こだわりの餃子と食べ比べて、自分好みの餃子を見つけてみてくださいね！  
餃子で愉快な宇都宮

## 「カクテルのまち」

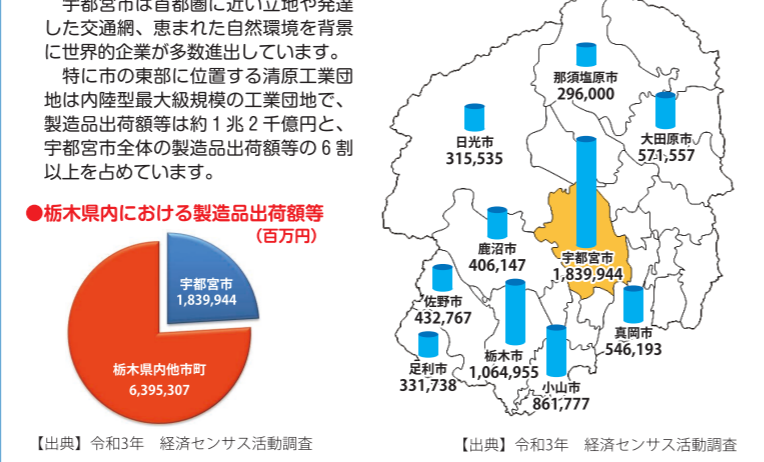
パティンダーの全国大会優勝者も多く、その腕前はトップクラス。宇都宮でしか味わうことのできない色・味・香りをお届けしています。カクテルをこよなく愛する人々が集う大人の空間で、おしゃれな時間を過ごしましょう！  
飲んで愉快な宇都宮

## 「ジャズのまち」

世界的なアルトサックス奏者、渡辺貞夫さんを筆頭に、数多くのジャズプレイヤーを輩出している宇都宮市では、市内のライブハウスで定期的にジャズライブが開催されるなど、日常的にジャズを感じることができます。情熱的な生演奏を、心ゆくまで体感しましょう！  
ジャズ愉快な宇都宮

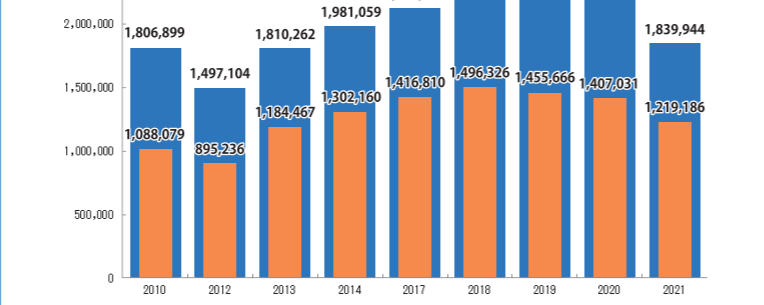
# ものづくりのまち うつのみや 経済

ものづくりの拠点都市 ●栃木県内の製造品出荷額等 TOP10 (百万円)



【出典】令和3年 経済センサス活動調査

●清原工業団地の宇都宮市に占める製造品出荷額等の割合 (百万円)



【出典】～令和2年(2020年) 工業統計調査 ※平成23年(2011年)、平成27年(2015年)、平成28年(2016年)は調査未実施・令和3年(2021年) 経済センサス活動調査

# スポーツのまち うつのみや 経済

宇都宮市は、大規模な国際的スポーツイベントの開催や宇都宮市をホームタウンとする3つのプロスポーツチームの活躍など、プロスポーツの魅力溢れるまちです。

3×3 ウィーク (ワールドツアー&パリ2024オリンピック予選大会)  
これまで開催してきた「宇都宮オープナー」と日本で初めて開催する「3×3予選大会」の2大会を、2024年はゴールデンウィーク期間中の2週にわたって開催し、「3×3ウィーク」として本市の魅力全世界に発信します。  
3人制バスケットボールのクラブチーム世界を決めるワールドツアーの開幕戦「オープナー」を誘致・開催(会場：宇都宮二荒山神社大鳥居前ほか)  
パリ2024オリンピックの出場をかけた3×3予選大会を宇都宮で開催(会場：ライトキューブ宇都宮ほか)

宇都宮ジャパンカップサイクルードレース (10月18日～20日)  
大会期間中には全国から13万人以上が集まる  
1日で勝者を決める「ワンデイレース」として世界のトップ選手の走りを見ることが出来るアジアNo.1ロードレース(会場：森林公園周回コース)

栃木 SC (サッカー)  
プロサッカーリーグのJリーグ (J2) に参戦し、チーム創設当初からの目標である「J1昇格」を目指して戦っています。宇都宮市出身の選手も活躍しています。

宇都宮ブレックス (バスケットボール)  
バスケットボールのトップリーグBリーグに参戦しています。2022年以来3度目のBリーグ年間チャンピオンを目指して戦っています。ブレックスアリーナ宇都宮でのファンの熱狂的な応援もリーグ随一です。

宇都宮ブリッツェン (自転車ロードレース)  
国内初の地域密着型の自転車プロロードレースチームとして、国内ロードレースに多数参戦しているほか、アジアNo.1のチームを目指して、国際大会にも積極的に参戦しています。

# 住んでみたいまち・住み続けたいまち うつのみや 人

宇都宮市では、全国トップクラスの住みよさや子育て環境を全国にPRするとともに、結婚・出産・進学・就職などのライフスタイル・ライフデザインに応じた切れ目のない支援により、移住定住の促進に取り組んでいます。

## 宇都宮ブランド・移住定住プロモーション

暮らしや働き方の変容に伴う地方移住への関心の高まりを捉え、ライトラインをはじめとする本市の先進的なまちづくりや、充実した子育て環境などの強みを生かし、テレビCMやインターネット広告などの多様なメディアを活用したプロモーションを展開しています。

## 本市への「移住」「定住」をサポートする様々な支援策が充実！

東京圏からの移住で100万円の補助が支給される「移住支援金」や、宇都宮市における生活を体験する「みや暮らし体験事業」、新幹線による東京圏への「通勤・通学補助金」のほか、民間賃貸住宅の家賃を補助する「フレッシュマン家賃補助金」など、様々な支援を展開しています。

## 宇都宮市移住定住相談窓口「miya come」

便利でアクセスの良いJR宇都宮駅直結の複合施設「ウツノミヤテラス」に常設の「miya come」では、移住や定住に向けた支援制度や住まい、仕事、教育環境など、常時、多様な相談内容に対してワンストップで対応します。

# 日本遺産・大谷石文化が息づくまち うつのみや 経済

大谷コネクト (国登録有形文化財「旧大谷公会堂」)  
大谷資料館  
「大谷石文化」は、平成30年に「日本遺産」として認定され、市民の誇りになっています。令和5年11月には、大谷観光周遊拠点施設「大谷コネクト」がオープンし、大谷地域への来訪者の滞在・交流の促進やさらなる賑わいの創出に向け、観光案内のほか、音楽の演奏会や映画の上映、シンポジウムなど多彩な催しに活用いただけるよう、施設の貸出しを行っています。

# MICE交流未来都市うつのみや 経済

MICEとは？  
多くの集客・交流が見込まれるビジネスイベントの総称を指します。「MICE」の開催を通じ、「人・もの・情報」などの更なる交流や賑わいの創出により、本市の地域経済の活性化につながることが期待されています。

## 宇都宮市でMICEを開催する魅力

- ①抜群のアクセス性 東京駅 大宮駅 仙台駅 東北新幹線で最短 48分 24分 65分
- ②充実した受入環境 MICE施設 1,000人以上 収容可能な大型施設 6施設 宿泊施設 収容人数 8,000人以上
- ③充実したコンベンション開催支援 補助金 国内コンベンション 最大 300万円 国際コンベンション 最大 500万円 開催サポート 開催準備から運営のサポートまでワンストップでの支援を実施

## 人々の交流拠点「ライトキューブ宇都宮」

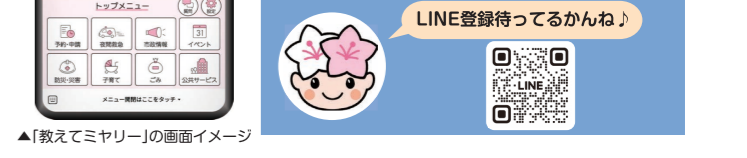
本市では、医療系の学会をはじめ中核市サミットや3×3の大会など様々なMICEが開催されています。「ライトキューブ宇都宮」では、2022年11月のオープンから1年間で、約1,500件の多様な規模・種類の催事が開催され、23.4万人の方にご利用いただいています。

# デジタルでつながるうつのみや デジタル

宇都宮市は、市民の暮らしが快適・便利になり、誰もが安心して利用できる「人にやさしいデジタルサービス」を提供しています。

## 24時間365日LINEで回答！「教えてミヤリー」

夜間や休日などいつでもどこでも、宇都宮市での暮らしに関するお問い合わせに対し、AIが自動で適切な情報を提供します。また、子育てや防災・防犯など17の分野から自分が興味・関心のある情報を選択して受け取ることができます。このほかにも、便利な機能があるため、ぜひご登録ください。



## 市有施設7か所設置！「多機能型デジタルサイネージ」

ライトライン沿線や観光拠点にある7か所の市有施設で、タッチ式のデジタルサイネージを設置しています。バスの乗換案内・ライトラインの時刻表などの交通情報や周辺のマップ・店舗などの観光情報を発信していますので、ぜひご利用ください。

## 「書かない窓口」サービスの提供開始！

本庁舎や地区市民センターなどで、マイナンバーカードや運転免許証等の本人確認証を利用して、申請書等に「氏名・住所・生年月日・性別」を印字できるシステムを導入し、手続をする市民の負担軽減に取り組んでいます。

## 「宮デジサポーター」の活動が開始！

高齢者等のデジタルに不慣れな方が、身近な場所で相談でき、地域で支え合う新たな仕組みとして、スマートフォンの操作方法などを教える地域のボランティア「宮デジサポーター」の養成に取り組んでいます。